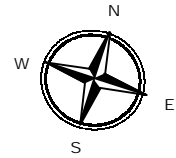
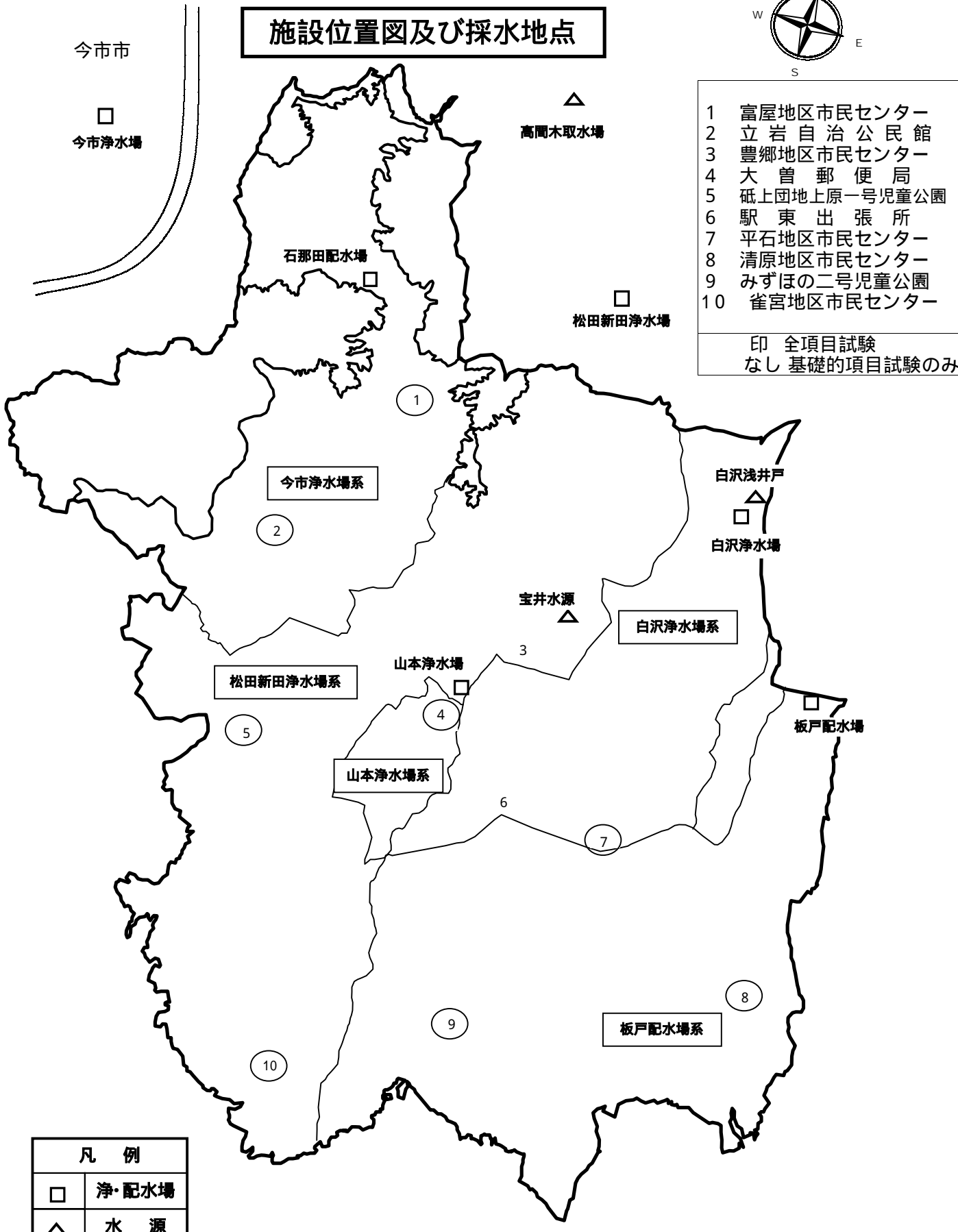


ここでは、会議で使った資料の一部を掲載しております。
 その他の資料等は、市役所1階行政情報センターでご覧になることができます。



施設位置図及び採水地点



- 1 富屋地区市民センター
- 2 立岩自治公民館
- 3 豊郷地区市民センター
- 4 大曾郵便局
- 5 砥上団地上原一号児童公園
- 6 駅東出張所
- 7 平石地区市民センター
- 8 清原地区市民センター
- 9 みずほの二号児童公園
- 10 雀宮地区市民センター

印 全項目試験
 なし 基礎的項目試験のみ

凡 例	
□	浄・配水場
△	水 源

水道料金について

1. 基本水量制をめぐる議論

【背景】

- ・ 節水意識の高揚
 - ・ 節水機器の普及
 - ・ 単身者世帯の増加
- } 1戸当たり使用水量の減少

【メリット，デメリット】

使用水量を抑制しても料金が安くならず，節水努力がはたらきづらい

単身世帯など，使用水量の少ない利用者にとって恩恵がない

基本水量分の料金を安くすることは，原価配賦の公正性，受益者負担の公平性を欠いている

公衆衛生上の観点から，基本水量内の使用を促進し，その部分の料金を抑える

2. 逡増型料金体系をめぐる議論

【背景】

- ・ 大口需要者の使用水量の減少

【メリット，デメリット】

大口需要者の料金を高くすることは，原価配賦の公正性，受益者負担の公平性を欠いている

大口需要による新たな水源開発を抑制し，生活用水へ配慮する

《参考》

単身者世帯数の推移（宇都宮市内のみ）

	昭和55年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度
単身者世帯数（世帯）	17,709	26,254	34,382	43,035	49,239
全世帯に対する構成比（%）	15.9	20.6	24.1	27.7	29.5

規模別使用水量等の推移

		昭和56年度	昭和60年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度
小口使用者 (口径25mm以下)	給水件数(件)	111,983	127,129	152,546	172,736	189,669
	使用水量(m ³ /年)	27,555,977	32,768,917	39,767,068	43,385,623	43,704,255
	平均使用水量(m ³ /件・月)	20. ⁵⁰⁶	21. ⁴⁸⁰	21. ⁷²⁴	20. ⁹³¹	19. ²⁰²
大口使用者 (口径50mm以上)	給水件数(件)	414	446	513	561	567
	使用水量(m ³ /年)	7,202,084	6,596,084	7,331,977	7,307,440	7,235,133
	平均使用水量(m ³ /件・月)	1,449. ⁶⁹⁵	1,232. ⁴⁵²	1,191. ⁰²⁹	1,085. ⁴⁷⁸	1,063. ³⁶⁵

水道料金のしくみ

1. 料金設定の基本原則

(1) 公営企業の独立採算制（地方公営企業法第17条第2項）

- ・地方公営企業の特別会計においては，経営に伴う収入をもって充てなければならない

(2) 料金算定基準（地方公営企業法第21条第2項）

- ・公共性が高く，福祉の向上を目的としているため，料金は公正妥当であること
- ・能率的経営を前提とした原価主義によること
- ・公営企業の健全な運営を確保するものであること

(3) 水道事業認可の条件（水道法第14条第4項）

- ・料金が，能率的な経営の下における適正な原価に照らし公正妥当なものであること
- ・料金が，定率または定額をもって明確に定められていること
- ・特定の者に対して不当な差別的取扱をするものでないこと

2. 総括原価主義と個別原価主義という2つの視点

(1) 総括原価主義

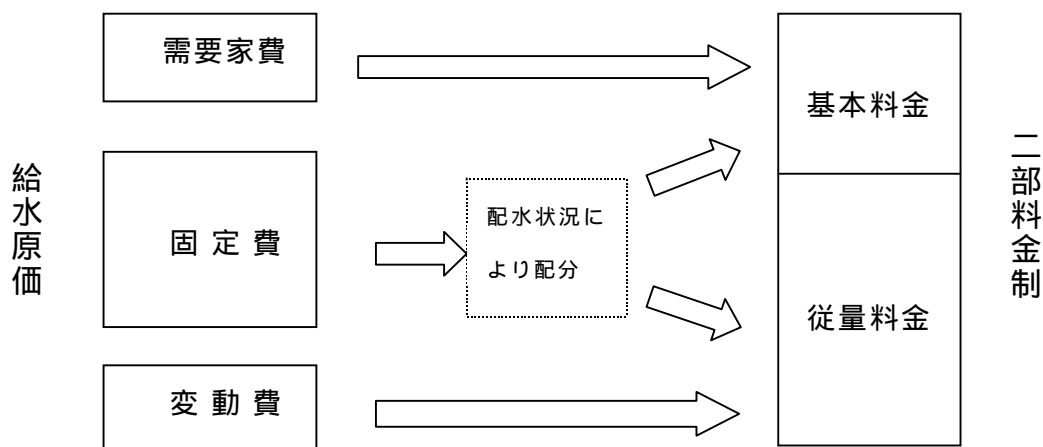
- ・料金の算定にあたっては，かかる原価のほか一定の事業報酬を含むこと

$\begin{aligned} \text{総括原価} &= \text{適正な原価} + \text{事業報酬} \\ &= \text{営業費用} + \text{資本費用} \end{aligned}$

(2) 個別原価主義

- ・各個の料金は，個々のサービスの供給に基づく原価をもとに決定すること
- ・ただし，生活用水については，低廉化に配慮することが要請される

3. 原価の配分



給水原価の構成

事項	内容	具体的な経費
需要家費	供給する水の量に関係なく水道利用者1件あたりに必要となる経費	・徴収関係経費 ・メーター関係費 など
固定費	水道事業の経営に固定的に必要とされる経費	・維持管理費 ・支払利息 など
変動費	供給する水の量に応じて変動する経費	・動力費 ・薬品費 など

4. 本市の水道料金の体系 (別紙「水道料金表」を参照)

(1) 口径別料金体系

- ・ 個別原価主義の観点から、用途別料金体系 (家庭用、事業用など) よりも合理的な口径別料金体系を採用

(2) 基本水量制

- ・ 生活用水が中心の小口径 (13 ~ 25mm) には、基本水量 10m³ / 月を設定
- ・ 公衆衛生上の観点から、その範囲内の水使用を促進するとともに、その部分に係わる料金の低廉化を図る

(3) 逓増型料金体系

- ・ 使用量が多ければ多いほど料金が増加する逓増型料金体系を採用
- ・ 大口需要による新たな水源開発の抑制や、生活用水への配慮のため政策的に実施

広報・PRについて

	広報手段	内 容	備 考	
広報紙等	「広報うつのみやの水道」	・4回/年(6・9・12・3月の第1日曜日) ・新聞折り込み, 郵送	・197,000部/回(14年度) ・定例記事: 予算決算, 引越関連, 冬支度など ・特集: 水道水の安全性など ・その他: Q & A, 漏水調査, モニターの活動状況など	
	「広報うつのみや」	・随時掲載		
	ホームページ	・平成12年度開設後, 随時更新 ・内容は別紙		
	パンフレット	・「うつのみやの水道」 ・「節水のしおり」 ・「マー君の冒険」	・事業概要を掲載 ・上手な水の使い方 ・水道水ができるまでを物語仕立てとし, 小学4年生の副読本として毎年作成	・随時作成 13年度: 3,000部 ・随時作成 12年度: 2,500部 ・毎年作成 約6,000部
イベント	水道施設見学会	・5回/年(一般: 5・6・10月, 親子: 7・8月の平日) ・松田新田浄水場 湯西川ダム建設予定地 川治ダム 今市浄水場 ・アンケート	・定員, 各40人	
	水道週間	・1回/年(6月1日から7日間)	飲み比べ, アンケートパネル展示, 相談受付, ペットボトル配布, パンフレット配布	
	・水道施設一日開放	る過池の洗浄, 水質検査の実演, クイズラリー, 各種催し		・961人参加 (・428人参加)
	・水の飲み比べ	・オリオン通り		(・533人参加)
	・パネル展示等	・市役所市民ホール		
フェスタmyうつのみや	・1回/年(5月) 465人参加 駅東公園, 市体育館, マロニエプラザ	・宇都宮市民の日実行委員会 ・179事業が参加		
消費生活展	・1回/年(11月, 2日間) 363人参加 福田屋ショッピングプラザ	・宇都宮市消費生活展実行委員会		
モニター	宇都宮市水道モニター	・需要者の意見, 提案等の把握に努め, サービスの向上と効率的事業運営に資する ・会議: 5回(内1回は施設見学), アンケート調査: 3回 任期1年 30人(公募) 平日の9:30 ~ 11:30	・会議(研修): グループワーク, 意見交換など ・モニターの職務: 地域の相談役として情報の提供, 利用者からの相談・苦情の報告。水道の異常・漏水・事故等の通報。	
その他	ペットボトルの作製		・14年度: 3,000本	
	文具品等の作製	・メモ帳, 下敷き, ボールペンなど		
	テレビ ラジオ	・とちぎTV「宮っこひろば」にて安全でおいしい水について ・水道週間について		

水道料金の他事業体との比較(口径20mm)

平成14年4月1日現在

県庁所在都市水道料金比較
(円)

順位	都市名	20
1	福島市	4,672
2	長崎市	4,415
3	新潟市	4,200
4	山形市	4,147
5	仙台市	4,095
6	甲府市	4,068
7	高松市	3,885
8	山口市	3,564
9	那覇市	3,501
10	札幌市	3,486
10	松江市	3,486
12	盛岡市	3,423
13	佐賀市	3,360
14	奈良市	3,349
15	さいたま市	3,339
16	秋田市	3,255
17	大分市	3,202
17	福岡市	3,202
19	宇都宮市	3,197
20	青森市	3,139
21	千葉市	3,108
22	神戸市	3,045
23	鹿児島市	3,013
24	長野市	3,003
25	松山市	2,887
26	熊本市	2,877
27	大津市	2,845
28	名古屋市	2,782
29	和歌山市	2,730
29	宮崎市	2,730
31	東京都区部	2,656
32	鳥取市	2,646
33	金沢市	2,635
34	京都市	2,614
35	水戸市	2,593
36	岡山市	2,591
37	横浜市	2,578
38	高知市	2,471
39	前橋市	2,354
40	広島市	2,341
41	静岡市	2,310
41	津市	2,310
43	岐阜市	2,236
44	大阪市	2,016
45	徳島市	1,963
46	富山市	1,953
47	福井市	1,764
	平均	3,022

中核市水道料金比較
(円)

順位	都市名	20
1	郡山市	5,113
2	長崎市	4,415
3	いわき市	4,263
4	新潟市	4,200
5	高松市	3,885
6	奈良市	3,349
7	秋田市	3,255
8	大分市	3,202
9	宇都宮市	3,197
10	鹿児島市	3,013
11	長野市	3,003
12	松山市	2,887
13	熊本市	2,877
14	旭川市	2,872
15	堺市	2,782
16	和歌山市	2,730
16	宮崎市	2,730
18	金沢市	2,635
18	豊田市	2,635
18	福山市	2,635
21	岡山市	2,591
22	浜松市	2,520
23	横須賀市	2,509
24	高知市	2,471
25	豊橋市	2,404
26	静岡市	2,310
27	岐阜市	2,236
28	姫路市	2,205
29	富山市	1,953
30	倉敷市	1,538
	平均	2,947

県内市町村水道料金比較
(円)

順位	市町村名	20
1	大田原市	5,880
2	西那須野町	5,355
3	黒羽町	5,145
4	烏山町	4,872
5	益子町	4,399
6	馬頭町	4,189
7	南那須町	3,990
8	芳賀町	3,885
8	矢板市	3,885
10	塩原町	3,780
11	小川町	3,760
12	藤岡町	3,612
13	葛生町	3,570
14	黒磯市	3,496
15	小山市	3,486
16	高根沢町	3,475
17	岩舟町	3,349
18	茂木町	3,318
18	市貝町	3,318
20	上河内町	3,286
21	塩谷町	3,270
22	宇都宮市	3,197
23	湯津上村	3,150
24	真岡市	3,045
25	氏家町	3,013
26	上三川町	2,992
27	粟野町	2,973
28	田沼町	2,961
29	都賀町	2,940
30	西方町	2,930
31	壬生町	2,908
32	喜連川町	2,898
33	那須町	2,840
34	国分寺町	2,793
35	二宮町	2,677
35	今市市	2,677
37	鹿沼市	2,614
38	石橋町	2,562
39	大平町	2,559
40	南河内町	2,541
41	野木町	2,409
42	栗山村	2,247
43	足利市	2,189
44	藤原町	2,162
45	栃木市	2,152
46	足尾町	2,016
47	佐野市	1,865
48	日光市	1,734
	平均	3,216

注) 料金については、1ヶ月当たり20(口径20mm)の消費税等込みの料金(用途別料金は家事用を使用)